

平成30年度修士課程（外国人留学生選抜）問題 目次

		ページ
	日本語試験	2
	専門試験	ページ
文化動態論	共生文明論	3~5
	アート・メディア論	—
	文学環境論	6~9
	言語生態論	—

平成30(2018)年度
大阪大学大学院文学研究科(修士課程/外国人留学生選抜)入学者選抜試験問題

日本語試験

[問題用紙は3枚あります。]

次の文章を読んで、後の問いに日本語で答えなさい。答えはすべて解答用紙に書きなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は次のとおりです。
家入葉子(2005)『文科系ストレイシープのための研究生生活ガイド』ひつじ書房、
59頁下5行～62頁17行

問1 (1)～(5)の漢字に読み仮名を付けなさい。

(1) 勧めている (2) 手配 (3) 利便性 (4) 閲覧 (5) 達人

問2 本文中にある次のことばを、文脈に即したわかりやすいことばに言い換えなさい。

(ア) 惜しみなく (イ) 態勢を整え(る) (ウ) 高望みを(する)

(エ) 風土を作り上げ(る) (オ) 思いのままに

問3 下線部(B)「図書館を自分の蔵書の延長線上に位置づける」ということについて、たとえばどのようなことが考えられるか、考えられる例を述べなさい。

問4 文章の冒頭の下線部(A)「図書館を自分の仕事場の一部として利用する」ということと「本は自分で買う」ということについて、あなたの考えるところを800字程度で自由に論じなさい。

以上

平成30（2018）年度

大阪大学大学院文学研究科（修士課程／外国人留学生選抜）入学者選抜試験問題

文化動態論専攻 共生文明論コース 専門試験

[問題用紙はこの紙をふくめて3枚あります。]

(注意事項)

- ・ 添付されている問題は、問1、問2、問3である。3題すべてに解答すること。
- ・ 解答は、日本語で解答用紙に記入すること。
- ・ 解答用紙には、解答する問題番号などを、それぞれの解答の冒頭に記入すること。
- ・ 中辞典程度の英語辞書の持込可。ただし、電子辞書は不可。

問1 次の(a)～(e)から1つを選んで解答しなさい。なお、選んだ項目のアルファベットを明記すること。

- (a) メディア・リテラシーの重要性について、具体例をあげて述べなさい。
- (b) 日本史上の古代・中世・近世・近代のそれぞれの時代における人の移住について、具体例をあげて述べなさい。
- (c) 異なる立場の議論を説明したうえで、いわゆる「従軍慰安婦」について論じなさい。
- (d) 日本の「南蛮文化」について、文化の真正性の観点から説明しなさい。
- (e) ヨーロッパまたはアジアから任意の地域（複数可）を選び、そこにおける近代国民国家の形成と言語・文字政策の関係について、歴史的に概観しなさい。

問2 次の(a)～(j)から2つを選んで解説しなさい。なお、選んだ項目のアルファベットを明記すること。

- (a) 原理主義
- (b) 宗族
- (c) ムガル帝国 (Mughal, 1526～39, 1555～1858)
- (d) 倭寇
- (e) 新大陸
- (f) アラブの春
- (g) 14世紀の危機
- (h) 漂海民 (sea gypsies)
- (i) 二・二六事件
- (j) 科挙 (中国の)

問3 次の文章を読んで、以下の問い（問ア・問イ）に答えなさい。

問題文は、著者の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は下記の通りです。引用部分は、“Henry Ford, bolstered”で始まり、“could not overcome.”で終わる1パラグラフです。

囲み部分とは、“Transplanted to Southeast Asia”で始まり、“could not overcome.”で終わる部分です。下線部とは、“It proved an unmitigated disaster.”の一文です。

(James C. Scott, *Two Cheers for Anarchism: Six Easy Pieces on Autonomy, Dignity, and Meaningful Work and Play*, Princeton University Press, 2012, pp.38~39.)

問ア. 囲み部分を日本語に訳しなさい。

問イ. 下線部の理由を日本語で説明しなさい。

平成30年度(2018)年度
大阪大学大学院文学研究科(修士課程/外国人留学生選抜)入学者選抜試験問題
文化動態論専攻 文学環境論コース 専門試験

[問題用紙は4枚あります。]

1. 次の文章は、Edward Fowler: *The Rhetoric of Confession. Shishosetsu in Early Twentieth-Century Japanese Fiction*. Berkeley: University of California Press 1988. の序章の一節です。これを読んで後の問いに答えなさい。

問題文は著者の著作権等に配慮し、省略します。なお出典は上記書籍の p.XV.J.23 - p.XVI.L.20 です。

- (イ) 「 」の部分日本語に訳しなさい。
- (ロ) 私小説評価をめぐる対立の焦点はどこにあるのか、分かりやすく説明し、あわせてそうした議論をあなた自身の立場から論評しなさい。

II. 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

問題文は、著作権に配慮して省略します。なお、出典は後出のとおりです。

ガウバツ、トーマス・マーチン「小説における米語方言の日本語訳について」
金水敏（編）『役割語研究の地平』くろしお出版、2007、pp. 125-156 より

- (イ) 問題文の下線部 A の意味で、次の下線部の発話例における「内容的情報」と「象徴的情報」を指摘せよ。

引用文は、著作権に配慮して省略します。出典は下記のとおりです。

(村上春樹『海辺のカフカ』文庫版・上・84 頁。下線は引用者による。
なお、「山頭火」は自由律俳句の作者として知られた俳人の名前)

- (ロ) 下線部 B 「この相対性には重要な意味があると考えられる。」における「重要な意味」とは何か。問題文の趣旨に沿って、簡潔に説明せよ。
- (ハ) 下線部 C の「ステレオタイプ」について、問題文に取り上げられた以外の具体的な例を挙げて説明せよ。またステレオタイプが引き起こすと考えられる社会的な問題点について知るところを述べよ。